

祝！ 西表島が世界自然遺産になりました

令和3年7月26日（月）、第44回世界遺産委員会拡大大会において、西表島を含む「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録が決定しました。

この世界自然遺産には、イリオモテヤマネコ（西表島に生息）、アマミノクロウサギ（奄美大島・徳之島に生息）、ヤンバルクイナ（やんばる地域に生息）、をはじめ、貴重な生きものがたくさん生息・生育しています。このような豊かな生物多様性の保全において特に重要な場所を含むため、世界自然遺産になることができました。



世界自然遺産登録記念式典の様子

西表島における世界遺産の範囲

西表島においては、下図に示す通り、島の7割程度の面積が世界自然遺産となりました。この範囲は、常緑広葉樹多雨林に覆われ、絶滅危惧種や固有種が多く生息・生育しています。なお、集落は世界自然遺産の区域には含まれていません。

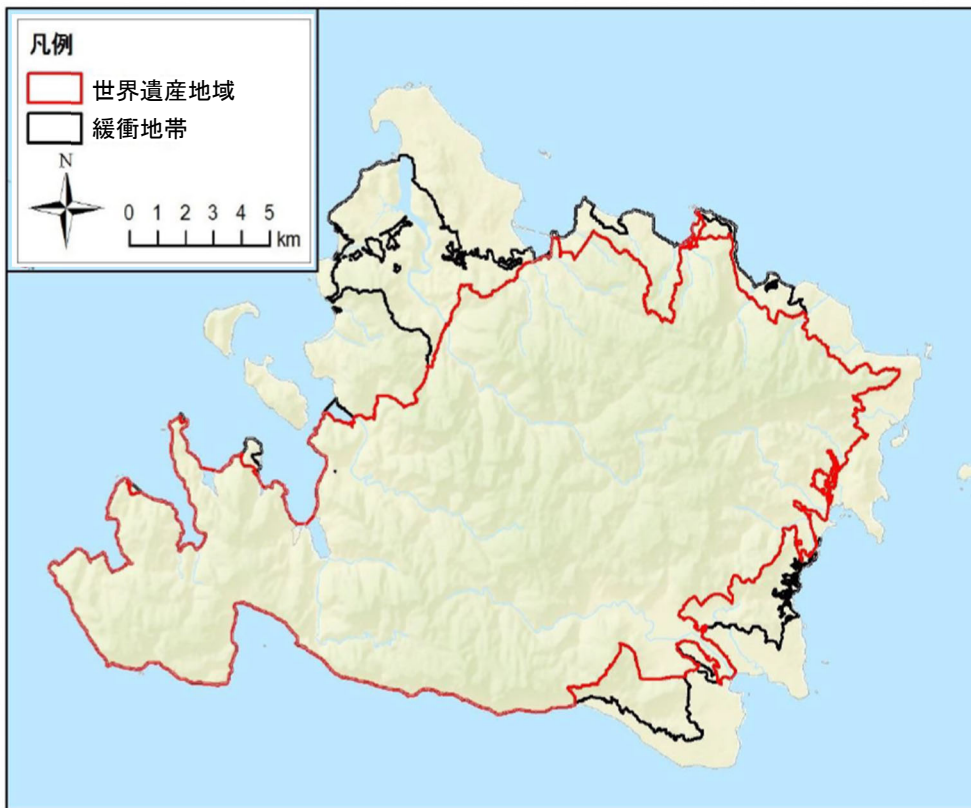


図 世界遺産地域及び緩衝地帯

出典) 世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（仮訳）(P.viiiの図を一部改変)



イリオモテヤマネコ



ヤヤマセマルハコガメ



台湾エビネ



カンムリワシ

世界自然遺産登録に関する住民アンケートの調査結果報告

令和3年12月～令和4年2月にかけて、西表島に住んでいる方々を対象に、世界自然遺産に関する意識調査を実施しました。

西表島の全世帯に質問票を配布し、配布件数1,253件のうち、250件（回収率：20.0%）のご回答をいただきました。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方の年齢は、40歳以上の回答者が8割以上を占めていました。また、職業は、観光ガイドが12.8%、宿泊業が11.6%を占めました。（詳細は右表）

＜アンケートにお答えいただいた方々（属性情報）＞

性別	回答数	比率(%)	職業	回答数	比率(%)
男性	117	46.8	観光ガイド	32	12.8
女性	122	48.8	宿泊業	29	11.6
無回答等	11	4.4	主婦	25	10.0
			無職	22	8.8
			公務員	19	7.6
			農業	18	7.2
			観光業（ガイド以外）	17	6.8
			飲食業	14	5.6
			小売業	11	4.4
			教育機関	9	3.6
			交通・運輸業	6	2.4
			その他	25	10.0
			無回答等	23	9.2

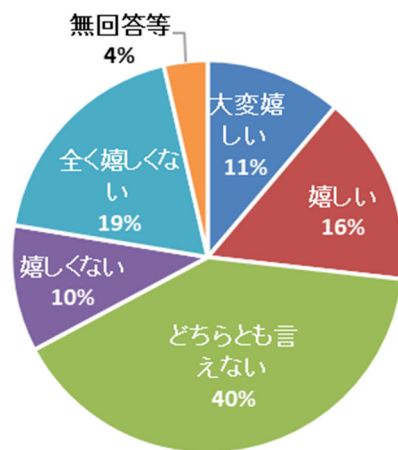
※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

世界自然遺産登録に関する認知度・態度

既に多くの住民の方々が世界自然遺産登録についてご存知だということが分かりました。世界遺産登録については、嬉しいと答えた方と嬉しくないと答えた方は同程度であり、「どちらとも言えない」と答えた方が約40%を占めていました。今後、遺産登録が地域にとって良い方向にはたらくかどうか、住民の皆様から注視されていると受け止めています。

項目	知っていた	知らなかった	無回答等
西表島が世界自然遺産に登録された	96.8%	0.0%	3.2%
奄美大島、徳之島、沖縄島北部と一緒に世界遺産に登録された	94.4%	2.8%	2.8%
世界自然遺産としての価値	92.4%	4.0%	3.6%

西表島が世界遺産になったことについてどう思うか

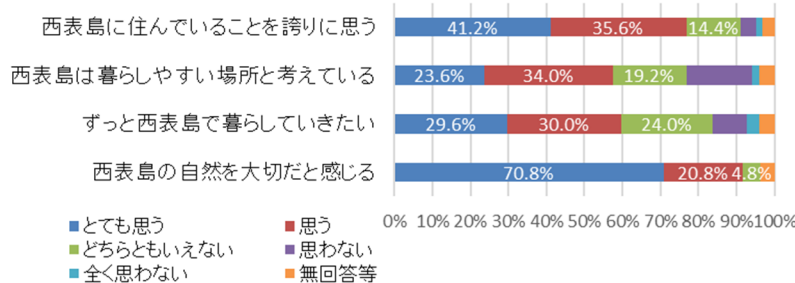


西表島における暮らしや自然についての意識、重大課題についての認識

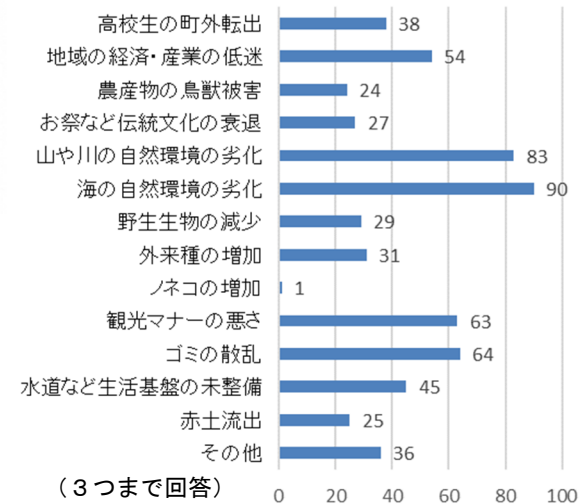
西表島での暮らしに関する意識では、約77%の方が西表島に住んでいることを誇りに思っていることが分かりました。また、西表島の自然を大切であると感じている人は90%以上にのぼりました。

西表島の抱える課題として、平成29年度調査と同様に、山や川、海の自然環境の劣化が特に重要な課題であるとする意見が最も多く、続いて、ごみの散乱、観光マナーの悪さも多く挙げられました。今回は5番目に、地域の経済・産業の低迷も課題として挙げられました。（裏面参照）

西表島における暮らしや自然についての意識

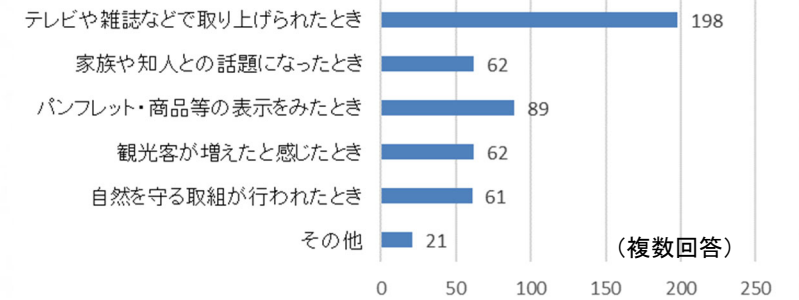


西表島の抱える課題のうち、重大な課題は何か



世界自然遺産に登録されたとき実感するとき

西表島が世界自然遺産に登録されたとき実感するときとして、テレビなどで取り上げられたときが最も多く挙げられました。一方、「その他」の中には、世界自然遺産に登録された実感がないという意見もありました。

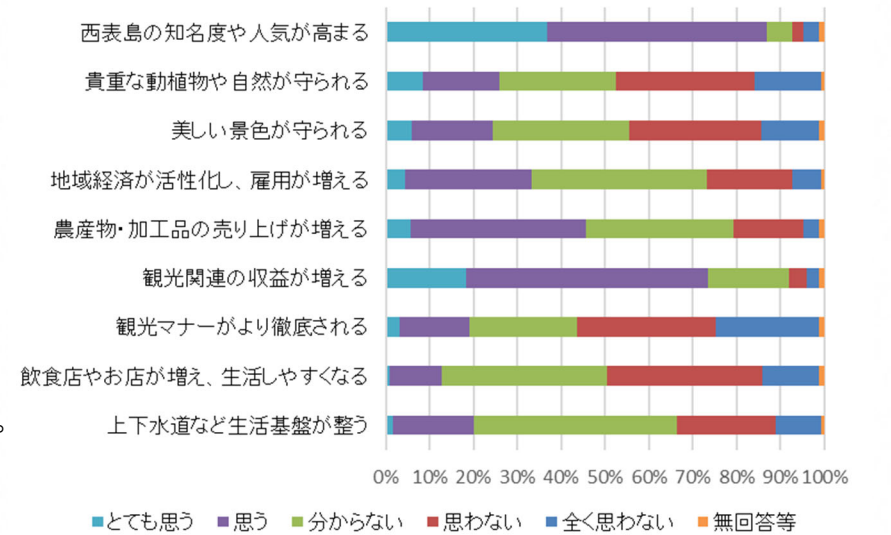


西表島が世界自然遺産になったことで期待できること

世界自然遺産になったことで期待できることは、地域の知名度や人気が高まること（約87%）、観光関連の収益が増えること（約74%）の順に多く、観光業を中心に地域経済が潤うことへの期待があると考えられます。

一方、貴重な動植物や自然が守られる、美しい景色が守られると回答した方は30%に満たず、世界遺産登録によって自然環境や景観の保全につながるの期待は少ないことがうかがえます。このような傾向は平成29年度調査の際と同様の結果となっています。

西表島が世界自然遺産になったことで期待できること

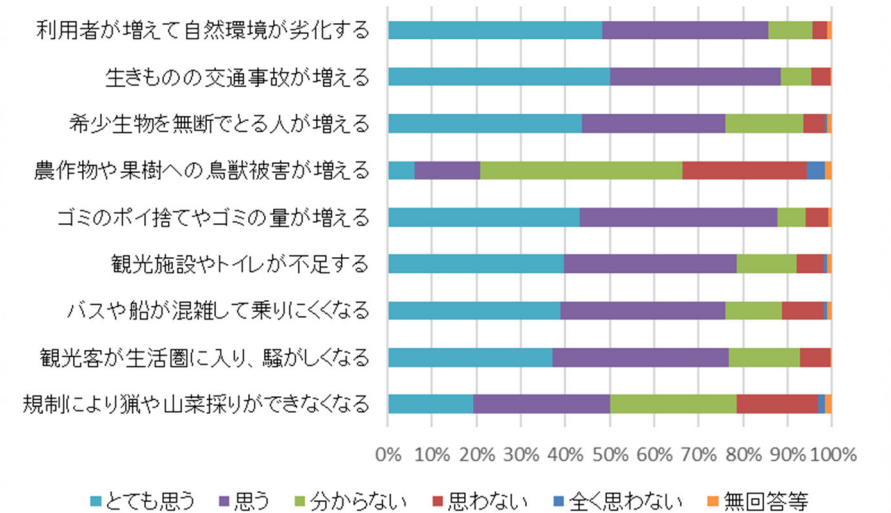


西表島が世界自然遺産になったために懸念または心配すること

ほとんどの項目について、懸念又は心配する人の割合が軒並み高く（80%程度）なっていました。平成29年度調査と同様に、利用客の増加と関連した自然環境や住民生活への影響について幅広く大きな懸念が持たれていることがうかがえます。

また、観光施設やトイレの不足、バスや船の混雑などについては、平成29年度調査よりも懸念・心配する人の割合が若干低下していますが、引き続き、大きな懸念を持たれています。

西表島が世界自然遺産になったために懸念または心配すること



まとめ：西表島の世界自然遺産に関する意識調査の結果、西表島に住んでいることへの誇りや自然を大切に思う気持ちを多くの方が持っている一方で、遺産登録についてはポジティブな意見もネガティブな意見も見られました。遺産登録の効果として観光業を中心とする経済効果については期待がある一方で、自然環境の保全への期待は少なく、逆に利用客の増加による自然環境や生物への影響や、住民生活への影響への懸念・心配が多くみられました。山や川、海の自然環境の劣化や、観光のマナーの悪さなどの負の側面は地域の課題としても強く認識されているため、今後、世界自然遺産に関する取組を通じて自然環境や住民生活の保全を進め、地域の課題を解決する糸口にしていくことが重要といえます。

前回住民アンケート結果との比較概要

今回の世界遺産登録に関する住民アンケートは、平成 29 年度に実施した前回アンケートに続き、2 回目の実施となりました。そのため、今回と前回のアンケート結果を比較しました。

観点	比較結果	令和 3 年度	平成 29 年度
回収率	回収率は同程度	20.0% (250 件)	20.0% (252 件)
世界自然遺産登録	ネガティブな評価が減少、どちらとも言えないが増加	(大変) 嬉しい : 27% どちらとも言えない : 40% (全く) 嬉しくない : 29%	(大変) 望ましい : 28% どちらとも言えない : 27% (全く) 望ましくない : 41%
地域課題 (トップ5)	1~4位は変わらず。5位がコロナ禍の影響か「地域の経済・産業の低迷」となった。	1. 海の自然環境の劣化 2. 山や川の自然環境の劣化 3. ごみの散乱 4. 観光マナーの悪さ 5. 地域の経済・産業の低迷	1. 海の自然環境の劣化 2. 山や川の自然環境の劣化 3. ごみの散乱 4. 観光マナーの悪さ 5. 野生生物の減少
世界自然遺産になったことで期待できること	各項目への期待度について大きな変化は見られない。	<期待する人の割合> ・貴重な動植物や自然が守られる → 26% ・美しい景色が守られる → 24% ・観光関連の収益が増える → 74% ・地域経済活性化と雇用増 → 33%	<期待する人の割合> ・貴重な動植物や自然が守られる → 25% ・美しい景色が守られる → 23% ・観光関連の収益が増える → 70% ・地域経済活性化と雇用増 → 40%
世界自然遺産になったために懸念または心配すること	利用客の増加と関連した自然環境や住民生活への影響について、引き続き、大きな懸念がある。	<懸念・心配する人の割合> ・利用者増で自然が劣化 → 86% ・生物の交通事故が増える → 88% ・観光施設やトイレの不足 → 78% ・バスや船の混雑 → 76% ・猟や山菜採りができない → 50%	<懸念・心配する人の割合> ・利用者増で自然が劣化 → 86% ・生物の交通事故が増える → 91% ・観光施設やトイレの不足 → 87% ・バスや船の混雑 → 85% ・猟や山菜採りができない → 56%

西表財団の設立

「西表島部会」の中で、西表島の課題解決に取り組む専任の組織が必要だという議論が行われたことをきっかけに、「西表財団設立準備会」での議論やクラウドファンディング等による資金調達など組織設立に向けた準備が進められ、令和 3 年 11 月に「一般財団法人西表財団」が設立されました。

西表島の貴重な動植物や受け継いできた伝統文化・営みを将来に残し伝えていくことなどを目指し、島民を中心にみんなの力を集めて、様々な取組を行っていく予定です。ホームページもありますので、是非一度ご覧になってください。



西表財団の
ホームページはこちら
<https://iriomote.or.jp/>



西表島の世界遺産に関する取組を進めています。

令和 3 年 7 月の世界遺産登録の際、世界遺産委員会から「観光管理」「ロードキル対策」「河川再生」「森林管理」についてさらに取組を進めるよう“宿題”（要請）が出されており、行政機関や地域関係団体が取組を進めています。特に、観光管理については、「特に西表島」において解決すべき課題であると指摘されていることをうけて、自然環境や住民生活と調和したより適切な観光管理を行っていくように、来訪者管理基本計画（観光管理計画）の改定など様々な取組を進めています。

